

令和6年9月17日

広報広聴委員会

阿久根市議会

1 会議名 広報広聴委員会

2 日時

(1) 期日 令和6年9月17日(火)

(2) 開会 午後2時36分

(3) 散会 午後3時54分

3 場所 第2委員会室

4 出席委員

川原慎一委員長、白石純一副委員長、高崎良二委員、
大野雅子委員、川畑二美委員、竹原信一委員

5 事務局職員

議事係主任 松林俊介

6 会議に付した事件

(1) 議会だより226号について

(2) 議員と語る会について

7 議事の経過概要 別紙のとおり

審査の経過概要

川原慎一委員長

ただいまから広報広聴委員会を開会いたします。

本日は、議会だより226号について、議員と語る会の2件について協議いたします。

○ 議会だより226号について

川原慎一委員長

それではまず、議会だより226号について議題とします。

議会だより226号については、スケジュールの確認と台割表のうち、一般質問の編集担当について協議したいと思います。

まずは内容を確認するため暫時休憩します。

（休憩 午後2時37分～午後2時43分）

川原慎一委員長

休憩に引き続き、委員会を再開します。

それでは、まず台割についてでございますが、今御提示させていただいている2ページ3ページ目にメッセージと総括という形をとっていったって、取りあえず、取りあえずという言い方はあれですけども、まず作ってみて、また次の委員会等で、量が多かったりだとか内容とかということは協議していくという形で御異議ございませんでしょうか。

白石純一委員

討論までいっていいのかな。

川原慎一委員長

もちろん。

白石純一委員

討論が両面2ページ、見開き2ページ、蓋を開けてみないと当然分からないんですけども、2ページを占めるというのは、なかなかないと思いますので、討論の後ろには、議決結果が入れられるんじゃないかなと思います。

順番としては、議決結果が討論の後に来て、それから一般質問と流れるほうがいいのかなと思いますので、その辺りは、もちろん討論の量次第ですけども。

〔発言する者あり〕

変更も可能だと思います。

川原慎一委員長

13の下段ですね。

〔発言する者あり〕

ちょっとそこも、26日、最終まで行って、どういうふうになるかというところもございますので、そこは、また懸案事項として、次の最終的に見た形で決めていきたいと思いますかね。

〔発言する者あり〕

これ上に持って行くっていうのは、まだ大丈夫なので、今現段階では。

竹原信一委員

議案があつて、委員会があつて討論を一つにまとめようという話。

そんな見やすい形に作るということだけ今決めておいてっていうことをがつつり決めなくてっていうことで、よろしいんじゃないですか。

川原慎一委員長

今、竹原委員からございました、議案ごとに、前回の225号のときに御意見等々も出ておりますが、議案ごとに議会だよりを作っていくほうが市民にも分かりやすいのではないかという御意見がございました。

今回も、そこを踏まえまして、そのやり方で議会だよりを作るということで進めていくということによろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

〔白石純一委員「であれば、余計に議決結果は一般質問の前が自然なのかな」と呼ぶ〕
そういうことになります。

ですので、そこは出てきたもので、こちらで調整させていただくということによろしいでしょうか。

〔発言する者あり〕

休憩したほうがいい。

〔発言する者あり〕

暫時休憩いたします。

(休憩 午後2時46分～午後2時49分)

川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

それでは、一般質問の編集担当について確認をしてみたいと思います。

一般質問の順に決めてまいりたいと思います。

まず、白石議員に対してですが、5人ですよ。

なので、2人、3人担当が出るのかな。

〔竹原信一委員「私が3人しましょう」と呼ぶ〕

よろしいでしょうか。

〔竹原信一委員「上から3人は私がします」と呼ぶ〕

なるべく担当したことがない人をしてはどうでしょうか。

暫時休憩に入ります。

(休憩 午後2時50分～午後2時53分)

川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

一般質問の編集担当について確認していきます。

まず、白石議員、渡辺議員、大田議員の編集担当は竹原委員。川原、大野議員、高崎議

員の編集担当は川畑委員。次、竹之内議員、川畑議員の編集担当は大野委員。木下議員、竹原議員の編集担当は高崎委員。牟田議員、山田議員の編集担当は白石委員。

以上のおりにすることに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認め、そのように決しました。

スケジュールにつきましては、決算特別委員会のほか、各種委員会、肥薩四市議会研修会も予定されている中で設定しておりますので、スケジュールどおりに進行できるように皆様の御協力をお願いします。

102のタイムスケジュールを御覧ください。

スケジュールは、一応この形で進めていこうと思っております。

広報広聴委員会後、各議員の皆さんには、10月3日までに原稿作成依頼のお願いを、L o G oチャットでお願いをしたいと思いますと思っております。

それで、御異議ございませんでしょうか。

大野雅子委員

原稿作成を依頼する中で、ここの部分を使いましたよというのをチェックしてくださって送ってくだされば助かります。本人に。蛍光ペンでもこう。

〔竹原信一委員「めちゃくちゃ面倒くさいんだ」と呼ぶ〕

分かる。

〔竹原信一委員「その考え方も分からんでもないけど、見比べればいいじゃん、そのたった半ページなんだから、全部通して見て、よければそれでオーケーよ」と呼ぶ〕

全部の自分で言ったのを読まないといけないでしょ。半ページを読むんじゃないくて。

川原慎一委員長

ちょっと今委員会中ですから。

暫時休憩します。

(休憩 午後2時56分～午後2時58分)

川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

それでは、一般質問の原稿に関しましては、そういったお願い、会議録に印をつけていただいて、そこを抜粋している形というものを、印をして出していただくということにしたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○ 議員と語る会について

川原慎一委員長

それでは、次の議員と語る会についてを議題といたします。

前回、議員と語る会について協議していただきましたが、団体を対象とするか、個人を対象とするかについて結論が出ませんでした。

〔発言する者あり〕

これ、資料ございません。

今回は、対象をどうするかについて決定していただくため、皆さんの御意見を伺いたい

と思います。

前回、皆さん、いろいろ御意見等々もいただきましたが、どういった進め方でいくべきかということでございます。

1人ずつ御意見をいただきたいと思いますが。

それでは暫時休憩します。

(休憩 午後3時～午後3時29分)

川原慎一議員長

休憩に引き続き、委員会を再開します。

今、休憩中にお話がありました、産業系の団体にするのか、まあ団体との語る会を今回しようという御意見が多くございました。

その中で、各団体、いろんな、教育にしろ、福祉、商工業含めた団体等ございますが、この11月の語る会に関しては、商工業、建築業、そういったものを含めたいわゆる経済の団体、関わっている団体の方々と語る会をするということで、御異議はございませんでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認め、そのように決しました。

日程等につきましては、委員長に一任いただけますかね。

それでまた日程等は、皆さんにお諮りしたいと思いますので。

〔発言する者あり〕

休憩します。

(休憩 午後3時30分～午後3時40分)

川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

11月の議員と語る会は、団体と経済団体の方々と語る会をする。

日程につきましては、それぞれの各団体の1番集まれる日にしたいと考えております。

その辺りも、次の委員会で皆さんに御提示、また、参加していただく団体も含めて、皆さんに御提示し、御協議いただくということで御異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

ありがとうございます。

それでは、以上で広報広聴委員会を。

〔白石純一委員「その他で」と呼ぶ〕

白石純一委員

渡辺さんがいるから言うわけじゃないんですけど、この前の全協で渡辺さんから出た話で、編集は、我々本当に広報委員会皆さん大変で、それぞれ意見を出して、最後はこれでいきましょうということで、非常に、そんだけ悩んだ結果が出て、それも一つの広報広聴委員会でもんだという実績でいいことだったと思うんですけども、それが最後に、印刷に回る段階で常任委員会の渡辺委員長が見られて、最終の案を見られてなかったっちゃうこ

とが、あれですよ、問題になったっちゃうことですかね。であれば、それをしっかりせないかんかなと思ってる所でした。

川原慎一委員長

そこは、これから以後、今回はもうやり方が大きく変わりますので、そこも含めて、委員会報告を受けて、こちらで委員長との取材をした中で、委員会報告という形で議会だより、今回もう予算委員会のみですけども、そこは作ってまいりたいと考えております。

白石純一委員

それはもちろんそれでいいんですけど、前回、そういう問題が生じた理由というか、それはどういうふうを考えていらっしゃるでしょうか。最後、最終的にこういう案で行きますよということが、委員長、執筆者の名前が出る委員長が見られてなかったということが、問題だったっちゃうことですかね。

川原慎一委員長

暫時休憩します。

(休憩 午後 3 時43分～午後 3 時46分)

川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

白石純一委員

ええとですね。今、皆さんよければ阿久根市のホームページを見ていただきたいんですけど。

川原慎一委員長

阿久根市のホームページ。

〔「鹿児島県阿久根市のホームページ」と呼ぶ者あり〕

ホームページのホームですか。

白石純一委員

はい。1 番トップです。

川原慎一委員長

はい。

白石純一委員

真ん中ぐらいに、阿久根市の広報あくねがぼんとあって、これを押すとそこに飛ぶようになっていますよね。最新号を見る、バックナンバーって。

川原慎一委員長

最新号を見る。

白石純一委員

はい。広報あくねの扉になってるわけですよ。サムネイル、専門用語でサムネイルっていうけど、それを見るための。

〔「これですよ」と呼ぶ者あり〕

広報あくねのトップページが出て、その下に最新号を見るということで、そこに飛ぶようになっていますよね。

〔「はいはい」と呼ぶ者あり〕

実はこの同じ。

〔川畑二美委員「議会だより」と呼ぶ〕

はい、同じ大きさの表紙のですね、議会だよりが以前、広報広聴委員会からお願いして作ってもらったことがあるんですよ。したがって、ホームページの中に、この広報あくねと議会だよりが並んでたんですね。

あるとき、このホームページを阿久根市が改訂したときにそれがなくなった。

〔竹原信一委員「議会だよりが消えたんだ」と呼ぶ〕

広報だよりがなくなる、議会だよりがなくなったんですね。

したがって、またそれを広報委員会としてお願いしませんかという。

〔竹原信一委員「お願いしましょうよ、それはもちろん。それとき、AZに議会だより10部しかやらないんだよ」と呼ぶ〕

川原慎一委員長

だからそこが。

〔竹原信一委員「何かおかしいよ」と呼ぶ〕

ちょっと、まず、後で話しましょうね、それは。

今、白石副委員長から御意見ございました阿久根市のトップページに最新号の議会だより。

休憩に入ります。

(休憩 午後3時49分～午後3時49分)

川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

〔白石純一委員「最新号を見るっちゅうも、バックナンバーに飛べるっちゅうのが大事だと思うんですよ。もちろん最新も含めてだけど」と呼ぶ〕

〔竹原信一委員「これぐらいの、目立つのでしてほしいな」と呼ぶ〕

議会の現状としては……

休憩に入りますね。

(休憩 午後3時49分～午後3時51分)

川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

今の阿久根市のホームページのところに、議会だよりも飛ぶリンクをつけてほしいというお願いの御意見でございましたが、いかがですか。

〔竹原信一委員「皆さんお願いします」と呼ぶ〕

〔大野雅子委員「いいと思います」と呼ぶ〕

〔川畑二美委員「いいと思いますね、本当に」と呼ぶ〕

ここは、どういう手続になるのでしょうか。

〔松林議事係主任「委員長から議長に相談していただいて」と呼ぶ〕

分かりました。

それでは、今日の委員会のこの決まったことに、議会だよりのホームページの掲載については、議長とお話をして、執行部にどうしていくかということのお話をしして皆さんにまた御報告をしたいと思ひます。

ほか、よろしいでしょうか。

事務局から。

〔松林議事係主任「休憩をお願いします」と呼ぶ〕

暫時休憩します。

(休憩 午後3時52分～午後3時54分)

川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開いたします。

議員と語る会の選定につきましては、議長と話した後、団体についての選定は、私に御一任いただくということで、それまでには御意見をください。

なるべく、添えるような形をとってまいりますので。

〔竹原信一委員「お願いします」と呼ぶ〕

よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

ほかになければ、以上で広報広聴委員会を散会いたします。

(散会 午後3時54分)

広報広聴委員会委員長 川 原 慎 一